

経営比較分析表（令和6年度決算）

宮城県 大郷町

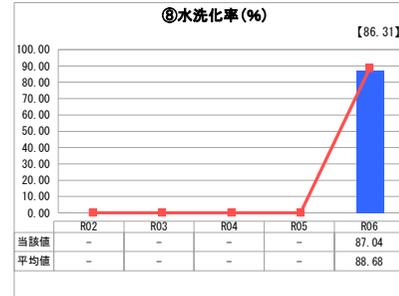
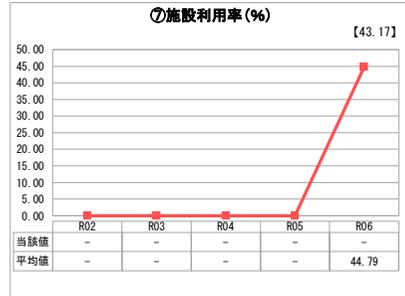
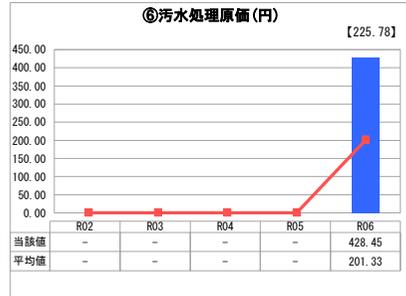
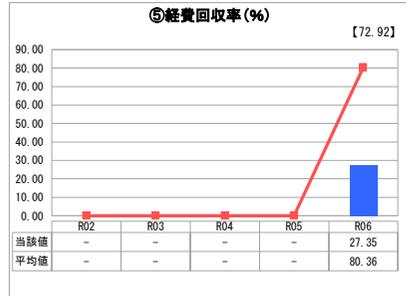
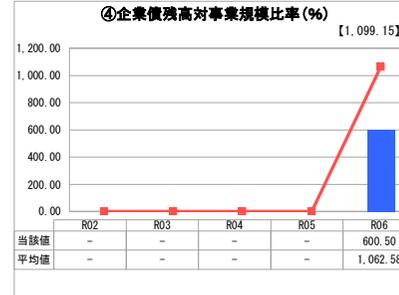
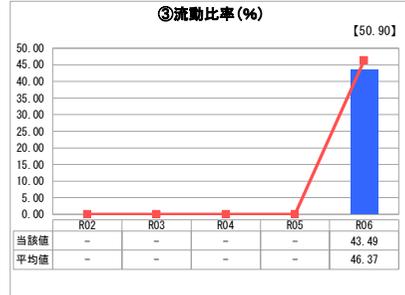
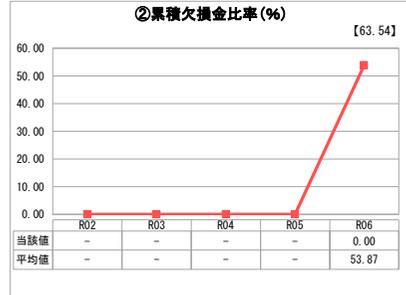
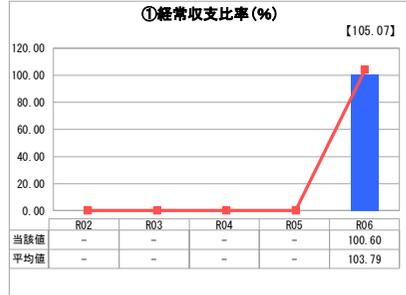
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	81.51	47.87	81.30	2,255

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,480	82.01	91.21
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,558	2.38	1,494.96

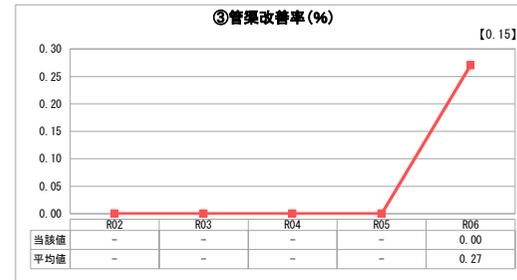
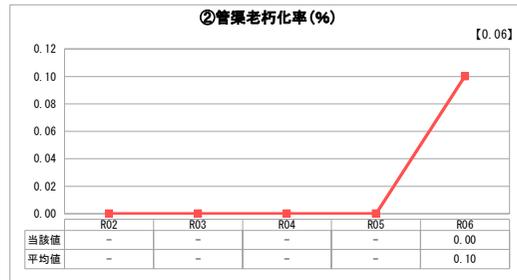
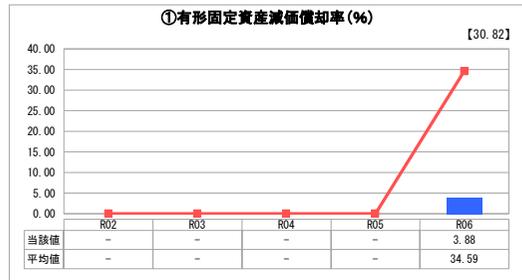
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、100%を超えているが、経費回収率が低く、汚水処理に係る費用を使用料以外の収入で賄っている割合が多いことが要因であり、今後は使用料で賄う割合を増やすため、下水道加入者の増加のための啓発活動等を行ったり、適正な料金について検討をするなど、数値が改善するよう経営努力を図る。

流動比率については概ね類似団体と同水準となっているが、100%を下回っている。流動負債に企業債や他会計からの負担金等が多く含まれていることが要因と考えられる。

企業債残高対事業規模比率については類似団体と比べ、低くなっている。

汚水処理原価については、類似団体よりも高くなっており、汚水処理費に対する使用料の割合が低くなっているため、適正な料金の算定を行う必要がある。

水洗化率は類似団体の平均とほぼ同様であるものの、経費回収率の改善につとめるため、今後も引き続き下水道加入について啓発活動を継続していく。

2. 老朽化の状況について

平成6年度に併用を開始し30年が経過、管渠耐用年数は40年であるものの、マンホールポンプ等の機械電気設備は法定耐用年数を経過しているため、平成29年度よりストックマネジメント計画による更新工事を行い、令和7年度に更新完了予定。

今後はマンホールの蓋並びに躯体についての更新工事を予定している。

全体総括

経営改善については、水洗化促進の取組を引き続き継続し、特に経費回収率の改善を進めるため、収益性の向上を図り、下水道加入者の増加や適正な料金の算定並びに料金収入の向上などを目指す。

ストックマネジメント計画による、下水道設備の更新工事を引き続き行っていく。また、令和5年度には腐食のおそれがある管渠についても更新計画を策定したことから、計画に沿った更新工事を行って行く。また、経費の平準化を図り効率的な運営を行う。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。